

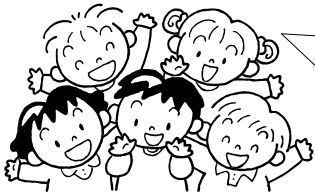
北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年9月3日(金)

NO25(通算87)

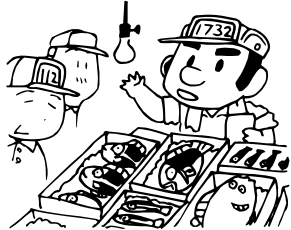


チャレンジ
ウィーク開始
働く喜びを感じて

「お兄さん、お姉さんが来るの楽しみにしてるよ!」

昨年、インフルエンザの流行で、中止になったチャレンジウィークがいよいよ来週から始まります。昨年の2年生(現3年生)にはとても残念な思いをさせてしまいました。

私は、チャレンジウィークを「実際に働く経験を通して、働く人たちの喜びや苦勞、意識を実感させるとともに、自分の将来について考え、望ましい職業観やよい生き方への



展望を持たせ、また感謝する心や自立心を養う」といった大切な活動と捉えています。

ロシアの文豪トルストイが「人間が幸せである

ために、もっとも大切な条件は、働くということである」といった意味の言葉を残しています。残念ながら現実には、この不景気で「働きたいけれど働けない」人が多くなってきています。こんな状態が少なくてもあと5、6年継続するとのこと。

こんな時期だからこそ、5日間のチャレンジウィークをきっかけに、生徒たちが自分の生き方や進路を真正面から考えられるようになってくれたらと思います。1、3年生は、学校での清掃活動や当番、日直の仕事をしっかりと、思い切ってやることで、自分にとって、仲間にとって、学校全体にとって何が生まれるのかを考えて欲しいのです。また、家庭の中でも、保護者の皆さんと子どもたちが「働くということ」「働く喜びとは何か」等について考え、話し合っていたきたいと思います。



こんな詩が、ある冊子にありました。

生きることは働くこと

何かをしているときより
じっとしているほうが疲れる
目前のことに没頭して
時間を忘れているとき
体は疲れているけれど
心は晴れ晴れとしていた
生きることは 働くこと
働く喜びこそ 生きている喜び
体を動かし 頭を使う
それ自体が立派な働き
お金を得るだけが 働きじゃない
もしその働きが人を助け 誰かの役に立つなら
何にも替え難い「喜び」という
報酬がついてくる



ことわざ・格言から学ぶ

—仕事に関して—

今号は、チャレンジウィークを記念して、仕事に関しての格言を紹介します。

またまたトルストイのことばです。『神は人間に額に汗して働けと命じている。銀行に金を積んで、何もしないで食べていこうとするのは、人間の掟に反することだ』貧乏人としては、「その通り!」と言いたいです。『もっとも平安な、そして純粋な喜びの一つは、労働をした後の休息である』(カント)、『わたしには、特殊な才能はありません。ただ、熱狂的な好奇心があるだけです』(アインシュタイン)や『我を忘れて自分の仕事に完全に没頭することのできる働きびとは、最も幸福である』(ヒルティ)等もあります。考えさせられる格言ですね。日本にもこんな格言があります。『仕事は探してやるものだ。自分が創り出すものだ』(織田信長)『仕事は恋愛と同じです。苦しいと思えば苦しい。楽しいと思えばこれほど楽しいことはありません』(本田宗一郎)他にもいろいろあります。ぜひ調べてみてください。